

名古屋キャンパス開設について

— 移転および授業、クラブ活動について —



こじま ひろし
学長 小嶋 博



名古屋キャンパスイメージ図 白鳥学舎



名古屋キャンパスイメージ図 日比野学舎

FEATURE

名古屋学院大学は42年前、敬神愛人を建学の精神として掲げ、経済学部のみ単学部大学として開学しましたが、今年4月に人間健康学部を開設し、4学部、2大学院研究科、1留学生別科を持ち収容定員4,800人の大学に成長しました。教育の中心においても、既存学部では、2006年度から新カリキュラムを実行し学生諸君が満足できるよりよい教育を目指しています。また、2007年4月には日比野・白鳥の両校舎からなる名古屋キャンパスが開設され、名古屋学院大学は都心を中心とした名古屋キャンパスと環境に恵まれた瀬戸キャンパスの二つのキャンパスを持つ大学となり、35年ぶりに本部が名古屋に戻ることになります。これに伴い、経済学部、商学部、外語語学部の3学部は名古屋キャンパスを基点に、また、人間健康学部は瀬戸キャンパスで授業が展開されます。名古屋キャンパスには体育館およびチャペルやテニスコート等を備えています。また、野球場やサッカー場等の大型運動施設は瀬戸キャンパス施設を利用することになります。

ここで、もう少し詳しく二つのキャンパスを使って2007年度以降に授業やクラブ活動がどのようになされるかについて説明いたします。クラブ活動の中で、硬式野球部、準硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、馬術部、アメリカンフットボール部の各クラブの練習施設は屋外大型施設であり、瀬戸キャンパスにあるような代替施設を名古屋キャンパス近隣で借用するのは困難です。またこれらのクラブは、練習も平日（早朝・日中・夜間）に行われることから、2006年度時点でこの6つのクラブに所属する学生諸君は授業およびクラブ練習ともに瀬戸キャンパスで行うこととなります。一方、経済学部、商学部、外国語学部の学生で、



6クラブ以外のクラブに所属するクラブ学生およびクラブに所属していない一般学生諸君の授業は名古屋キャンパスで行われます。しかし、前に示した6クラブ以外のクラブの練習施設は名古屋キャンパスとともに瀬戸キャンパスにもありますので、週末等に瀬戸キャンパスで練習することは自由です。人間健康学部の学生諸君は、授業が瀬戸キャンパスのみなので、クラブ練習も瀬戸キャンパス中心に行われますが、当然のことながら、クラブ全体の活動として名古屋キャンパスを利用することもあります。

まとめて言えば、クラブ活動としては、学部に関係なく全学において、名古屋キャンパス・瀬戸キャンパス両方の利用が可能とすることです。ただ、授業においては、経済、商の両学部学生は名古屋キャンパス中心ですが、6クラブ所属の学生に対しては瀬戸キャンパスで授業がなされるということになります。（外国語学部の授業は、名古屋キャンパスのみで開講されます。）

2007年度以降入学の学生に対しては、右記に述べたことと原則的に変わりません。ただ、4月の履修登録時点でクラブ所属がほぼ決まっているのはスポーツ推薦学生とAO入試等の入試で合格し入学後のクラブ加入が明確になっている学生だけです。その中で瀬戸の大型施設を利用する6クラブ所属予定の経済、商両学部学生は瀬戸キャンパスで授業を受けることとなります。入学後にこれらのクラブに加入する学生は、クラブ練習は瀬戸で行われますが、授業は名古屋キャンパスで1年間は受けることになり、キャンパス変更は次年度初めにしか行えないことを原則とします。

これからも本学の教育に対し深いご理解をいただきますようお願いいたします。

白鳥・日比野学舎周辺マップ

名古屋キャンパスの周辺環境には、さまざまな観光名所がいっぱいです。ここでは代表的なスポットを掲載します。同窓生の皆さん、是非一度ぐるりと巡ってみたいいかがですか？

